臨床実習Ⅱ　消化器内科　臨床問題

問題

【症例】60歳女性

【現病歴】原発性胆汁性胆管炎（PBC）で前医通院中。フォロー目的の単純CT検査で肝右葉に低吸収域を認めたため、当科に紹介された。当院のdynamic CT検査でも肝右葉に腫瘤を認めた。

【既往歴】PBC、逆流性食道炎

【内服薬】ウルソデオキシコール酸錠、ラベプラゾール錠

【生活歴】飲酒：なし、喫煙：なし

【身体所見】

身長 151 cm、体重 63.5 kg。体温 36.5 ℃、血圧 126/75 mmHg、心拍数 69 回/分。

意識清明。眼球結膜黄染なし。皮膚黄疸なし。胸部は特記すべき異常なし。腹部は平坦・軟、圧痛はなし。下腿浮腫なし。

【血液検査所見】

白血球 4210 /µL、赤血球 383万 /µL、Hb 11.8 g/dL、Ht 36.3 %、血小板 14.6万 /µL、

APTT 24.5 秒、PT％ 95 %、血漿総蛋白 7.5 g/dL、アルブミン 3.8 g/dL、

AST 39 U/L、ALT 22 U/L、LD 302 U/L、ALP 74 U/L、γ-GT 28 U/L、

BUN 18 mg/dL、Cre 0.84 mg/dL、NH3 53 µg/dL、Na 139 mmol/dL、K 4.1 mmol/dL、

Cl 101 mmol/dL、総ビリルビン 0.6 mg/dL、直接ビリルビン0.1 mg/dL、CRP 0.14 mg/dL、

AFP 129 ng/mL、AFP-L3% 9.4 %、PIVKAⅡ 2147.2 ng/mL、

HBs抗原(－)、HCV抗体(+)、HCV-RNA 5.7 logIU/mL、

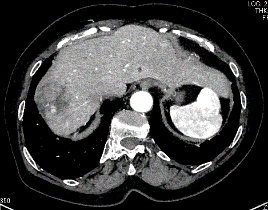
ICG K値 0.132

【dynamic CT画像】

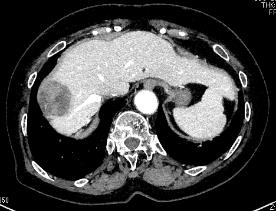
肝右葉に、動脈相で一部早期濃染、門脈相でwash outとなる5cm大の腫瘤を認める。

腹水は認めない。

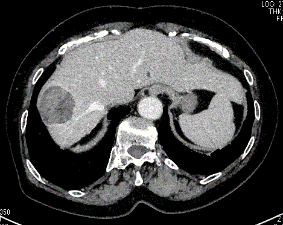
＜動脈相＞



＜門脈相＞



＜静脈相＞



問１　以下の表は2019年のがん死亡数について、部位別の順位をまとめたものである。

➀～④のうち、「肝臓」はどれか。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 |
| 男性 | ➀ | ② | 大腸 | ③ | ④ |
| 女性 | 大腸 | ➀ | ③ | ② | 乳房 |
| 男女計 | ➀ | 大腸 | ② | ③ | ④ |

問2　最も考えられる診断はどれか。

a. 肝血管筋脂肪腫

b. 肝内胆管癌

c. 肝細胞癌

d. 転移性肝癌

e. 肝嚢胞

問3　この患者におけるChild-Pughスコアとグレードの組み合わせで正しいものを選べ。

a. ５点、グレードA

b. ６点、グレードA

c. ６点、グレードB

d. ７点、グレードB

e. ７点、グレードC

画像検査において、遠隔転移を認めなかった。

問4　この患者において最も適応となる治療法を1つ選べ。

a. ラジオ波焼灼療法 (RFA)

b. best supportive care (BSC)

c. 外科的肝切除

d. 分子標的治療薬

e. 経皮的エタノール注入療法 (PEIT)

解答

問１　④　　　　　　➀肺、②胃、③膵臓、④肝臓

問２　c

問３　a

問４　c